



No.29

平成24年9月1日発行

編集・発行

北斗会 (旧富山商船同窓会)

射水市海老江練合1-2

TEL (0766) 86-5100 FAX (0766) 86-5110

振替口座 00720-1-2631

同窓会HP <http://www.toyama-shosen.com/>

同窓会新名称が
「北斗会」に決まりました！



同窓会長挨拶

E25 山口 光三



一昨年11月 同窓会長に就任して早1年と6ヶ月が過ぎました。同窓の皆さん、お元気でしょうか？ 昨年の3.11以来色々な自然災害が起こり、日本の政治・経済も大きく様変わりしようとしています。我が母校も校名も変わり、同窓会の名称も「北斗会」と改名して心機一転、より充実した会にしたいと思って

おります。学校発祥の地新湊も9月に新湊大橋が完成して、潟切断以来40数年ぶりに堀岡と結ばれ、交通の便も良くなり一層入学生も増加するものと期待します。本年4月には、新高専の第3期生が入学され富山商船旧高専の学生も徐々に卒業となり、同窓会もより一層時代に対応していかなければならないと痛感しているところでございます。北海道、東北、新潟、関東、関西、富山の各支部長とも連絡を密にしながら今後ともこの「北斗会」が益々発展する為に、同窓の御指導、御鞭撻をお願い申し上げ理事会、支部総会、総会等にぜひとも足を運んで下さるようお願い致します。

同窓会新名称が 北斗会に決まりました！

本校同窓会の新名称「北斗会」は、平成23年11月6日から公式表示されるようになりました。同窓生の中には、おそらく今だ「北斗会」の存在を知らないでいる方も大勢いらっしゃると思います。当然この記事を読んで気付かれた方もいらっしゃることでしょう。

「北斗会」の誕生については、遡ること5年前。富山商船高専と富山工業高専の統合が決定的になったのを受けて、同窓会事務局としては「富山商船同窓会」の存続問題を考えました。

最初に起った問題は、富山工業高専同窓会と合併するか。相手側から合併のアプローチがありました。これについては以前より各支部の意見をとりまとめてあったので、丁重に即、お断りしました。次の問題は同窓会運営に関してのことでした。運営には資金が必要であり、これまで毎年予算を組み執行してきたのは、毎年誕生する同窓生、即ち卒業生からの入会金の存在です。入学した学校名に「商船」がなくなる事実を考えると、はたして統合後の卒業生が「富山商船同窓会」に加入してくれるだろうか？と考えた時、事務局としては次の3つの選択肢を各支部に投げかけました。

- 選択肢1** 「富山商船同窓会」のまま運営していく。
これまで通り、新校名で卒業する学生にも入会を求める。
- 選択肢2** 「富山商船同窓会」を平成25年度の卒業生までで運営していき、新校名での卒業生には新しい「同窓会」を立ち上げてもらう、1校2同窓会型。
- 選択肢3** 「富山商船同窓会」の名称を改め、新校名での卒業生にも加入してもらい、規約等を変えて、これまで通り運営していく。

この議論は平成20年から3年間行われたが、運営方法に関しては殆どの支部から選択肢3が指示され、23年度の総会決議までの間は新名称の選択に時間を費やしました。

結果として、学園祭の名称である「北斗祭」から「北斗会」を支持する声が圧倒的でした。それまでの候補として、「奈古会」「若潮会」「射水会」などがありました。最後まで強固に「富山商船同窓会」を求める同窓生もいたことを付け加えておきます。

(同窓会事務局 E30 佐々木 正)

定期総会

日時 平成23年11月5日(土)

場所 富山電気ビルレストラン

本年度の同窓会総会には50余名の参加者がありました。総会次第に沿って山口同窓会長の挨拶、各支部長より支部報告が行われました。その後、理事会での決定事項の承認をいただきました。

「学校統合による同窓会名称の変更」については、各支部より意見を持ち寄っていたが、「北斗会」に決定しました。本総会にて決定した事項を以下に示します。

■ 総会決議事項

1. 同窓会新名称の使用について
同窓会名称「北斗会」は総会決議後、11月6日より正式名称として使用する。
2. 「北斗会」規約について
「富山商船同窓会規約」を改め、「北斗会規約」の認定を受けた。
3. 役員人事
新監査役 N63 永守 徹
新会計 E35 水谷 淳之介
新理事 N67 近藤 栄二 (新潟支部)
4. 通信費について
東北支部及び北海道支部については、平成24、25年度の2年間に限り通信費を5万円(基本通信費3万円)とする。
5. 東日本大震災の被害者について
東日本大震災で被害を受けた本同窓会員に対し、被害状況が把握でき次第「見舞金」を渡すこととする。
6. 歌集について
「富山商船 歌集」を編集し冊子として、1回目は1000部発刊して各支部に配布する。

(出席者)

山口 光三(E25)、池田 茂(E24)、及川 武志(E25)、福地 赴雄(N57)
川原 勝行(N68)、古川 隆(N61)、勝木 敏秀(N53)、吉村 正秀(N52)
朝倉 光洋(E25)、佐藤 淳(N71)、岩田 悟(N43)、山元 賢治(N47)
島木 隆昭(N55)、松本 省吾(N55)、永守 徹(N63)、堀岡 俊宏(N70)
川端 一人(E13)、牧野 武仕(E13)、寺村 真亮(E23)、石井 秋吉(E24)
斉藤 正(E26)、金山 恵美(N82)、佐々木 正(E30)、田近 茂樹(N63)
水谷 淳之介(E35)、浦恵 里夏(D3)、高崎 雅志(D16)、金田 泰三(N72)
勝島 隆史(NE10)、村岡 喬(N41)、西野 清作(N42)、篠島 光彦(N42)
山本 広志(N57)、栄 雄生(N57)、若林 二三男(N61)、平野 昭三(E5)
山本 忠嗣(E25)、熊谷 秀憲(E25)、片岸 由紀夫(E25)、多間 俊太郎(E28)
長崎 誠(E28)、河上 秀雄(E28)、寺田 幸美(E28)、堀江 誠(E34)
山下 憲一(D3)、赤江 邦雄(N58)、米田 政明(校長)、成瀬 喜則(副校長)
水本 巖(校長補佐)

■ 総会の様子



山口会長の挨拶



成瀬副校長による学校近況



懇親会の様子



万歳三唱

たまたま部活の同窓生と会う機会があり、雑談の中で後輩が、同窓会報の記事を書かねばならないというので、そうかそうか、それじゃ、でき上がったら見てあげるよ、と気楽に話していた。数日後に、まさか自分のところにも会報の記事を書くようにという依頼があるとも知らずに。

ともあれ、何か話を書かなければならない。かといって、部活の同窓会の出来事では話が重複してしまう。一瞬迷った挙句、同窓会自体の事を書くことにした。おそらくどの支部もが会合の度に、話題にしているであろう事柄を。

同窓会活動の問題点、それは何と言っても参加者の減少、いわゆる先細りではないだろうか。そして、なんとか参加者を増やそうとして努力していると思う。けれども、どうしたら参加者が増えるだろうか、という話をしても、なぜ参加者が減って行くのか、については、あまり語られていないのではないだろうか？その原因を追究し、対策を立てることが大事であると、だれもが知っているにも拘わらず、だ。

卒業後初めて、同窓会の集まりに参加したとき、正直にびっくりした。口の悪い言い方をすれば、老人会かどさえ思った。すでに仕事をリタイヤした先輩方がその参加者の大部分を占め、同じく年配の、おそらく会社でも一定以上の立場がある人たちが脇を固めていた。同世代はほとんどおらず、先輩方が親しげに話しかけてくれても、非常に居心地が悪かったことを覚えている。

その開会時間や場所、参加費にも抵抗があった。

関東支部では、便宜上東京駅周辺の会場にて、18時頃から行われることが多かったのだが、横浜にある自分の会社からでは、終業時間の17時過ぎに会社を出たら、とても18時には間に合うことができない。

毎日が自分の自由になる人間、自分の就業時間がある程度自分で管理できる立場の人間でなければ、なかなか参加しづらいのだ。

費用も少々高いと思われる割には、まだ若かった自分が好むような食べ物ではなく、どちらかというところとあまりぱっとしない品が多かったように思う。

つまり、
年齢差が大きすぎる
話し相手がいない
時間配分が厳しい
費用が高い

ことから、必然的に足が遠のいたことは、我ながら無理もなかったと思わざるを得ないのだ。

誰もが、もっと若い子たちに参加してほしい、という。

本当にそう思っているのなら、彼らが参加しやすい環境を整えることが先ではないだろうか？

それは、例えば参加費を無料にしてあげるとか、そういうことではない。参加費が高いと感じたと書いたけれども、それはその他の事柄があったうえでのことだ。

若い世代の事がわかるようなふりをする必要もない。所詮わかりはしないのだから。

むしろ若い世代は、そういう接し方をされることに、戸惑いや違和感を覚えることも少なくないという。

同窓会から足が遠のいてから十数年後、再び同窓会活動に参加するようになった。

だれもが、中堅として、即戦力として頑張してほしい、という。

しかしこの世代は、同窓会の先輩方からそう思われるのと同様に、会社にとっても、地域の活動においても、家庭においても、即戦力たることが求められているのも事実なのだ。

つまり、これまた、同窓会だけに時間を費やすことは、なかなか難しいのである。

では、どうすればいいのか？

一案だが、どの世代にも、必ず世話係的な、事務方系の卒業生がいる。その人間をまず取り込むことだ。欲張ってたくさん入れようとしなくてもいいと思う。ただ、数年間隔で幅広い世代を集める必要がある。

次は、その世話係たちが、各々周りの人間をかき集めることだ。必然世代間が埋まって行くはずだ。

Column

しかし、たった5行で書いたこれが、実は結構難しいことなのだ。

現実には、そういう方向性を持って動き始めているものの、正直なところ、なかなか拡大して行かない。

やり方が誤っているのだろうか？と考えることもある。

とって先例を踏襲していれば、遠からず同窓会自体が縮小することは間違いない。

やはり、行動に移さなければならぬのだ、それ今。

同窓会は、ごく一部の人間のものではない。規定の最初に書かれているように、「富山商船」という学校を卒業した人間等、すべてのものなのだ。

そして、そのすべての人間に、同窓会への参加を選択する自由があるのと同時に、同窓会のあり方について考える義務がある、と思う。

座して滅びるのを待つや 攻めて生き残らん
諸葛孔明の言葉といわれている。

今、考えなければならぬ。今、動き出さねばならない。

誰かが、ではなく、あなた自身が、だ。

と同時に目的も明確化するべきだ。文言にしろというのではなく、だれもが自覚することが大切だという意味でだが。

どれだけカッコいいお題目を唱えようとも、任意の人間が集まるということは、その集団の利益を追求するというのが最終目的である以上、

昔を懐かしむだけのための集まりならばいい。

同窓会は、同窓生の利権を追求するのが目的でなければならない。

各諸氏の忌憚ない意見を、是非同窓会に寄せてほしい。

批判も大いに結構。ただし、それではどうすればよいのかという意見がないものは、これを認めないが。

以上

！不審な名簿業者からの連絡にご注意ください

“富山商船高等専門学校”と記した同窓会名簿の発行案内のハガキが届いた、という連絡がありました。同窓会では個人情報配布することはありません。このような悪質な業者からの問い合わせには応じないよう、ご注意ください。



住所変更等 ご連絡ください！

同窓会報は毎年9月初旬ごろ発送しておりますが、宛先不明等にて返送されることがございます。ご友人で会報の届いていない方がおられましたら、お手数ですが事務局までご連絡いただけますようお願い致します。

また氏名や住所の変更、お悔やみなどにつきましても、ご連絡頂けますようお願い致します。

なお富山商船同窓会 HP では [各種問合せ] - [住所変更] やログイン ID 取得後の [登録情報の変更] にて変更連絡が可能となっております。合わせてご利用下さい。

※富山商船同窓会 HP でのユーザー登録方法は15ページをご覧ください。



支部会だより

北海支部

北斗会北海支部の近況報告について
事務局 谷川芳郎 (E21期)

昨年3月に開催した越洋会（函館在住者による富山商船同窓会で、昭和20年頃に設立された！）の中で、今後の同窓会は名称も“商船”の名前が消えて新たに“北斗会”とし、北海道全体で行うことになったとの議題が出されました。

以前から高専組織の統合等の動きは感じていましたが、現実のものになると時代の流れを痛感するとともに一抹の寂しさを感じました。しかし、これからはより多くの新しく異なる分野の若い同窓生ができることなので、喜ばしいことですが、思いはこもごもというところです。

吉村新支部長（N52期）から新同窓会の発足を兼ねた第一回総会は、10月第一土曜日に開催する旨の連絡を受けたので、白紙状態の事務局としては当面「越洋会」の方針等に倣うこととし、勝木敏秀（N53期）佐野正弘（N57期）同事務局から会員の集計、案

内及び収支決算の方法等をすべて教わった次第です。

道内の会員を把握するに当たっては、本部の名簿、寺尾聡（N65期）ほか数名の方々のご協力により、やっと9月上旬に91名の会員に総会案内を発送することができました。

洞爺湖「ホテル北海」での総会出席者は、函館方面から9名（ホテルの送迎バスあり）ほか、稚内市からの出席者を含め16名の方々には個々に会場まで足を運んでいただきましたが16名、計25名（27.5%）と初回にしては満足しています。関係者皆様のご協力で頭が下がるばかりです。

会場では年代の違う初対面の同窓生でもそこは同窓のよしみ、すぐ打ち解けて和やかな雰囲気になりました。

吉村会長の発声により第一回総会が開催されて、役員指名【理事：向井晟吾（N45期）千葉辰見（N50期）勝木敏秀（N53期）鳴海鼓大（E36期）川田秀史（E24期）寺尾聡（N65期）小田部誠一（N58期）・皆さんに快諾いただきました】や、今後の活動方針等の議題があり、次第に熱がこもった会議になってきました。特に若手からは同年輩の人達を集めるので、次回は札幌で開催したいとの要望が出されるなど、活発な意見交換がなされて順調な船出だった

神戸港カッターレース

5月13日にメリケンパークにて開催された神戸港カッターレースにカッター部OBの方々に参加しました。今まで何度か参加した際は艇指揮として乗艇していましたが、今回は漕ぎ手です。

このカッターレースは、学生の頃に漕いでいた12人艇ではなく、6人艇で500mの距離の速さを競います。現役の試合での距離より短いですが、卒業してか

らカッターを漕ぐ機会はほぼなかったのも大変でした。富山商船以外の他の商船のOBの方もチームを出しています。私は富山県出身ですが、就職を機に関西に住むことになりました。カッター部のOBの方々とは年に1回交流する機会が出来るとは全く思っていませんでしたので、とても貴重な体験をさせてもらっているなど毎回実感しています。同級生や後輩が、勤めている会社のチームでレースに参加していることもあるので、思いがけない人と再会しお互いの近況を

報告しあったりすることもあります。

6月10日には山下公園で開催された横浜港カッターレースにも参加しましたが、レース直前までメンバーが足りるか否かの瀬戸際の状態でした。この状況は神戸港のカッターレースでも同様で、毎年メンバーを集めるの



富山商船 OBOG チーム



と思っています。

18:00からは懇親会でしたが、安着祝いにと交わした一パイも手伝ってか「オイ」「オマエ」と呼び合う同窓会独特のタイムスリップした雰囲気のうち時の経つのが早いこと。最後は皆で「船歌集」をメガネ越しに、商船学校時代そのままに肩を組みながら大声で歌い続けました……。閉会後もそれぞれの部屋で〇〇会を開いて心ゆくまで語り合っていました。

北海支部の今後の課題はたくさんありますが、案内状に対して欠席する旨の意思表示をされた方は41名(45.1)、無音信者が24名(26.4%)もいたことは、会員の掘り起こしに一工夫も二工夫も要る証拠だと事務局の力量不足をつくづく感じています。

また、今回集計した名簿から平均年齢を推計(卒業年から)すると、60.1歳にもなりますので若返り対策が急務です。

今後とも皆さんから知恵を拝借して後輩に良い土台を作ってバトンタッチできるようにしたいと考えています。

末筆になりましたが昨年(2011年)の東日本大震災、中部地方の気候災害そして今年も九州・四国地方の気象災害に遭われた同窓の方も多いと思います。心からお見舞いを申し上げますと共により速く復興されることを併せてお祈り申し上げます。(敬称略)

東北支部

東北支部2012年新年会開催

事務局 N71 佐藤 淳

2月11日、かねてから連絡しておりました東北支部新年会を開催致しました。

新年会に先立ち行われた理事会では、朝倉支部長の挨拶、また事務局より本年度東北支部総会を含めた行事予定の説明、本部総会の内容説明等をさせていただき、その後新年会へ。

今回は山形から高橋さん、郡山から山根さんが初参戦され、酒宴も一段と盛り上がりました。次回の企画にはご連絡させていただきますので、皆様にも是非ご参加頂ければと思います。



に苦心しております。同時期に学生生活を過ごした人、そうでない人とも『富山商船』を共有できる機会だと私は思っています。

皆さん、懐かしいカッターを漕いでみませんか？カッター部OBでなくても、老若男女、どなたでも大歓迎です！島木元教官も、毎年横浜に応援にいらっしゃいます。是非ご家族や友人と一緒に、気軽にメリケンパーク又は山下公園へ足を運んで頂ければと思います。富山商船の校章が入った、青い旗が目印です！

(K4 尾谷 美樹 記)



青い旗が目印です！



「富山商船 歌集」について

これまで各年代の同期会等で歌われてきた「富山商船寮歌」や「練習船の歌」などのいわゆる「商船学校歌」は、楽譜もないまま歌い継がれてきました。その歌も、今では卒業式の最後に卒業生を送る音楽として「寮歌」が使われているくらいで、今の学生たちには全く継承されていません。

パソコンやゲーム機の無いあの時代、寮の菓子会で歌われた数々の歌。歌い継がれた多くの歌を懐かしむ声が近年富に事務局に多く届くようになりました。

歌集に載せる歌を決めるに当たり、会員からのリクエストとすれば良かったのですが、時間と紙面の制約もあり数人の卒業生で決めさせていただきました。

きっと多くの同窓生は、ページを開いたとき、思わず口ずさんでしまうでしょう。(E30 佐々木 正 記)



同 期 会

十一会

開催日：奇数月の23日午後6時より。
 場 所：割烹「川口」万葉線新町口駅前
 TEL 0766-84-1331
 会 費：料理代4,000円+酒代2,000円
 (飲酒できない人1,000円)
 参加者：富山商船同窓生
 (富山高専射水キャンパス)
 幹 事：山口光三 (E25期)
 TEL 0766-82-5809



■ 取り決め事

1. 23日が月曜日(定休日)の場合は24日。
2. 出席希望者は1週間ぐらい前に幹事へ連絡。
3. 出席予定者でキャンセルの場合は、当日朝9時まで連絡のこと。それ以降は4,000円頂きます。

■ 会の歴史 (記録にある物)

初回開催…昭和63年5月。その後毎月11日「川口」で開催。平成10年頃、毎月23日に変更。

- ### ■ 歴代幹事
- 森永 知道(N34期)、池田 茂(E24期)、近堂 禎賢(E12期)
 毛利 康(E17期)、山口 光三(E25期)

母校の町

一 ほのかに匂う 潮の香が
 優しく頬を なでてゆく
 内川添いの 細い道
 町の家並み 今もなお
 変わらぬ影と そよ風よ

二 薄紫に 浮かぶ島
 弁天様の 越の潟
 二の丸橋に 佇んで
 夢を語りし わが友よ
 今はいずこに 過ごせしや

三 紺の制服 なびかせて
 友と歩いた あの頃の
 昭和二十八年の頃
 八幡宮の 通り道
 松風青く 爽やかに
 熱き心の 青春の日よ

四 海辺に渡る 潮騒よ
 澄み渡る空 白い雲
 想いを馳せる 年月を
 唯懐かしく 昔日の
 忘れ難きは わが母校

作詩 堀口兵策

昭和二十八年の頃



今は姿なき商船学校の跡地を訪ねて
 ★ 平成二十三年九月十五日

富山商船高専一期生

平成23年9月17日 於 サン柳亭



お互い良い年を採りましたね

どの顔もいい顔になったね。久しぶりにあって長い年月も、あつという間だったね。

同窓会事務局へ ご連絡ください。

同期会の開催などの同窓生近況を事務局へご連絡ください。また、お住まいの地域にて、どの同窓会支部へ連絡したら良いか、支部総会に参加したいが連絡をどこへしたら良いか、など支部や支部活動に関するご相談もお気軽にお問い合わせください。

(連絡先)

〒933-0293
富山県射水市海老江練合1の2
富山高等専門学校内

北斗会(富山商船同窓会)事務局

マザーシップ海王丸

銀嶺 立山 背に映し
檣頭 天に 凜として
気品に満ちて 誇らしく
船出してより 八十年
碧き七海 駆け巡り
若き血潮の 練習生
鍛え育てし 幾千人

海国日本の 船乗りを
ロマンの海に 誘いて
生みて導き 母のごと
輝く航跡 世に残し
栄光讃えん 高らかに
終の港に 安らぐも
優美の姿 永遠にあれ

作詞 堀口兵策

現在富山新港に係留中

昭和十年頃の雄姿

◆マザーシップII船乗りが最初に乗った船
富山新港に係留している初代海王丸にて
乗船実習(昭和二十七年)の思い出も深く。

★平成二十四年一月三日

学内 トピックス

■ 平成23年度 卒業証書・修了証書授与式 (2012年3月3日)

射水キャンパス第2体育館において、平成23年度卒業証書・修了証書授与式が厳粛に行われました。この日、卒業・修了を迎えたのは電子制御工学科41名、情報工学科39名、国際流通学科40名、そして制御情報システム工学専攻11名、国際ビジネス学専攻4名です。

式では、国歌斉唱の後、卒業証書・修了証書授与が行われ、米田校長から「本校で学んだ事に自信を持って、何事も諦めず、粘り強く、自分の道を切り拓いてもらいたい」と告辞が述べられました。

卒業生を代表して情報工学科 宮西由貴さんが「本校を卒業した事に誇りを持ち、自ら選んだ新たな道を進み、精一杯努力します。」と誓いを述べました。

卒業式の後、同窓会オリエンテーションが行われました。オリエンテーションでは山口同窓会会長より励ましの言葉が述べられました。新たらしく仲間となった同窓生の門出を祝し、今後の活躍を期待したいと思います。



■ 校内カッターレース大会 (2012年7月20日)

梅雨が未だ明けない7月20日、恒例の校内カッターレース大会が臨海実習場にて開催されました。時折、スコールのような激しい雨がりましたが、同窓会より寄贈された優勝トロフィを競い、熱戦が繰り広げられました。

参加チームは5月中旬より公式練習を始め、大会に臨みました。今年は梅雨の晴れ間が多く、各チーム十分に練習を積み重ねて臨めた様子です。またクラス毎にユニフォームや鉢巻きを揃えるなど、チームカラーが増えて、レースは色彩豊かになっております。

商船学科唯一の女子艇チームとして参加した商船2年は、漕ぎ手12名、艇指揮・艇長2名の計14名の女子学生が乗艇して臨みました。練習不足から連覇は難しいと噂されていましたが、本番では權と呼吸を合わせ、力強い漕ぎを見せました。

また今年入学した商船学科1年は女子学生を含む男女混合艇にて優勝するなど、大活躍を見せました。今後がとても楽しみなチームです。

レースは400m回頭のタイムレースにて行われました。レース結果は以下の通りです。



レース風景



女子艇の部で優勝した商船学科2年

かたふり コーナー

N63 永守 徹



卒業生代表の宮西由貴さん



卒業生へお祝いを述べる山口会長

○混合艇の部

- 第1位 商船学科1年
- 第2位 電子情報工学科3年A艇
- 第3位 専攻科

○男子艇の部

- 第1位 商船学科4年A艇
- 第2位 商船学科5年
- 第3位 商船学科3年

○女子艇の部

- 第1位 商船学科2年
- 第2位 国際ビジネス学科3年
- 第3位 専攻科



トロフィの授与式

私は、今、富山市内にある新富観光サービス(株)を営んでいます。現在の事業概要は貸切バス事業(所有車両35両)、旅行事業(国内・海外旅行取扱事業)、保険代理店事業の3事業、従業員数72名、年商約18億円です。これらの事業を取り巻く環境は、地震、台風、豪雨、豪雪などの自然の災害、円高、ユーロ圏の経済不況、政治の不安定などにより、大変厳しい状況であります。この状況を打破するには、地域社会を「明るく」「愉快地に楽しく・面白く」「気持ち良く」させるのが一番の方策ではないでしょうか。昨年(2011年)の東日本大震災以降に被災地へ復興ボランティアの送迎、放射能の風評被害で観光客が激減した宿泊施設や観光地への誘客・送客し、経済効果にも貢献できたことなど、私の企業がいろいろな場面で社会貢献できることを誇りに思っています。

私は、入社して33年になります。今まで80数か国を訪れました。印象に残るすばらしい国はたくさんありますが、日本にまさる国はありません。これからもこの素晴らしい日本、地域社会を「明るく」「愉快地に楽しく・面白く」「気持ち良く」させるため、旅行業を通じ貢献して行きたいと思っています。

学生時代は、旅行業に従事するとは考えもしませんでした。新社会人の皆さんにおかれては大変厳しい社会状況ではありますが「恐れず」「ひるまず」「とらわれず」いろいろな事に勇気を持って自分自身の可能性の限界にチャレンジして下さい。



新入社員とツアーのプランニングをしている永守さん

同窓会HPをご利用ください!



同窓会HPでは、同窓生の新たな交流の場として掲示板を設置しております。同期の仲間との連絡手段の一つとしてご利用ください。母校の近況紹介のページでは学校行事や学内でニュースになっていることを取上げ紹介しています。ぜひご覧になって母校にいたころを思い出してみてください。また、HPのユーザ登録後は登録されている住所の変更等もHP上で行うことができます。引越し等をして住所が変更になるという際にはこちらもご利用ください。今後も更なるコンテンツの充実を図っていかうと考えております。利用してのご意見等がありましたら、ホームページの事務局関連ページ>各種お問い合わせページからご連絡ください。同窓生の交流のひとつとして活用頂けると幸いです。

(D16期 高崎雅志 記)

ホームページでは、総会のお知らせをはじめ、支部会や同期会のお知らせを掲載しています。卒業生用掲示板へはユーザー登録のうえ、ご利用ください。

総会のお知らせ

支部のお知らせ

ロボコン大会の結果

平成23年度卒業式

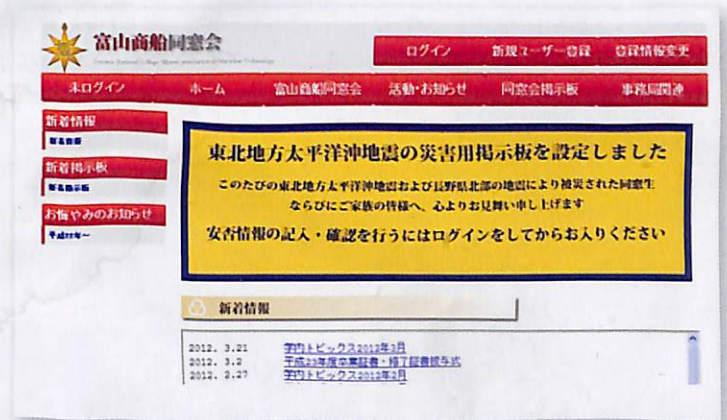
■ 同窓会ホームページでのユーザー登録方法

ユーザー登録により卒業生専用掲示板の閲覧および書込みが可能となります。ユーザー登録における本人認証は2段階にて行います。お手数をお掛け致しますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。なお、本人認証ができない場合には事務局にて対応致しますので、ご連絡ください。

(登録手順)

新規のユーザー登録は同窓会ホームページのトップ画面右上の「新規ユーザー登録」よりお進み下さい。

ホームページトップ画面▶



1

本人認証1段階

「姓」「名」「卒業年」「卒業学科」を入力してください。

※全項目を入力してから「本人認証①」ボタンを押してください。

姓	<input type="text"/>	(例)商船
名	<input type="text"/>	(例)太郎
卒業年	選択してください	
卒業学科	選択してください	
<input type="button" value="本人認証①"/> <input type="button" value="リセット"/>		

2

本人認証2段階

会報送付の「都道府県」「市区」「町村番地」「電話番号」を入力して下さい。

※全項目を入力してから「本人認証②」ボタンを押してください。

都道府県	選択してください	
市区	<input type="text"/>	(例)射水市
町村番地	<input type="text"/>	(例)海老江練合1-2 ※番地半角
電話番号	<input type="text"/>	(例)半角・ハイフン無し
<input type="button" value="本人認証②"/> <input type="button" value="リセット"/>		

3

ログイン用の「メールアドレス」「パスワード」を入力して下さい。

※全項目を入力してから「ユーザー登録」ボタンを押してください。

メールアドレス	<input type="text"/>	※PCメールや携帯メール
パスワード	<input type="text"/>	※半角英数字のみ6文字以上10文字以内
<input type="button" value="ユーザー登録"/> <input type="button" value="リセット"/>		

4

サイト利用時は登録した「メールアドレス」「パスワード」の入力にてログインします。ホームページのトップ画面右上の「ログイン」よりお進みください。

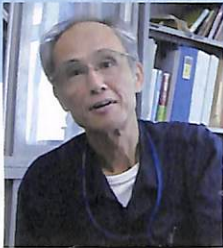
登録メールとパスワードを入力して下さい。

メールアドレス	<input type="text"/>	※PCメールや携帯メール
パスワード	<input type="text"/>	※半角英数字のみ6文字以上10文字以内
<input type="button" value="ログイン"/> <input type="button" value="リセット"/>		

ご無沙汰しております。
これからもよろしくお願いいたします。

Newcomers

このコーナーではキャンパス内の同窓生を紹介していきます。4月に篠島 司郎さんが商船学科へ着任されました。また3月に若潮丸一等航海士として、橋本 心太郎さんが人事交流先の日本海洋事業㈱から復帰しました。



篠島 司郎

E33期(昭和51年卒業)

4月に商船学科へ着任された篠島司郎さんに学生時代のお写真をもとにお話をお伺い致しました。篠島さんが在学していた頃は北海道や東北出身者が多く、富山県内出身者は少ない方でした。そのなかで砺波在郷の学生が集まり「郷友会」が発足していたとのことです。在郷の後輩の面倒を見てくれた頼もしい先輩方との集合写真に1年生の篠島さんが映っていらっしゃいました。

「1年生は緊張していて、ほら、指先までピシッと伸びているでしょ。」「1～2年生の頃は起床から朝別科、朝食まで5分刻みの生活でしたから、忙しかったですよ。」当時を振り返り、上下関係の厳しさや寮生活の厳しさをお話いただきました。



▲郷友会の資料



▲郷友会 (昭和46年度)
中列右から1番目が篠島さん (旧姓: 伊藤)

篠島さんは商船学科の工作実習、機関英語を担当されています。また寮務主事補として、学寮業務にも携わっています。お忙しい業務の合間には、柔道部の顧問として部活動の指導に当たられ、時々ですが、柔道着を着て、畳の上に立つこともあるそうです。(E49 三輪 誠 記)



橋本 心太郎

NE6期(平成10年度卒業)

この3月に若潮丸一等航海士として、人事交流先の日本海洋事業㈱から復帰しました。学内では練習船実習を担当するほかに、学生時代から所属していたヨット部に顧問として携わっています。土日はもっぱらヨット部の引率で借り出されます、学生時代に慣れ親しんだヨットですが、今では、水に入るのもためらいがちです。

▲インタビューに応じる
橋本さん

趣味は映画観賞です。最近のお奨めはジェームスキャメロン監督の“アバター”です。DVDで見ましたが、当直の合間の睡眠時間を削って、一気に見てしまいました。機会があれば、家族で映画館にも行きたいと思います。

日本海洋事業㈱では、通常の運航業務に加えて、大時化の中で調査機器を扱ったり、緊急にポートを降下したりするなど、海洋調査を行う研究者のリクエストに応じて作業を行って来ました。リクエストには興味深いテーマもあり、今後の業務に活かせるアイデアを得ることができました。本校の若潮丸は海洋調査の設備が充実しており、人事交流で得た知識を活かして、若潮丸を活用できればと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

日本海洋事業㈱では、通常の運航業務に加えて、大時化の中で調査機器を扱ったり、緊急にポートを降下したりするなど、海洋調査を行う研究者のリクエストに応じて作業を行って来ました。リクエストには興味深いテーマもあり、今後の業務に活かせるアイデアを得ることができました。本校の若潮丸は海洋調査の設備が充実しており、人事交流で得た知識を活かして、若潮丸を活用できればと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

平成24年度

総会・懇親会のお知らせ

日時 平成24年11月10日(土)
14:00～16:00 理事会
16:00～17:00 総会
17:00～19:00 懇親会

場所 富山電気ビルレストラン
〒930-0004 富山市桜橋通り3番1号
TEL:076-432-4111 FAX:076-432-4130

懇親会費 5,000円(女性は3,000円)
(平成24年3月、9月に卒業した会員は無料)

※準備の都合上、出席の有無は10月15日までに同封のはがきでお知らせください。

春の叙勲

旭日双光章

(平成24年4月29日北日本新聞)

一筋に生きたことに喜びと誇りを感ずる。多くの人に感謝したい



伏木水先区水先人
越前精一氏(分)

高岡市能町南
船長として活躍した後、水先人になり、31人になり、50隻を安全に港へ導いた。

平成24年4月29日付けで春の叙勲が発令されました。越前精一さん(N51期)が旭日双光章を受章されました。謹んでお慶び申し上げます。

編集後記

学校では今、統合後の高度化再編により校内設備の改修工事が行われています。実習工場地区は平成26年度に向けて、工作実習室と電気実験室、メカトロ実習室およびE T S実験室が大幅に場所を移転します。図書館の改修工事と重なりまして、また新たな学校に生まれ変わる様子です。

さて、今回も多くの皆様より原稿をお送りいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。同窓会の新名称が決まり、懐かしい顔ぶれが集まれば話題になる機会も多くなると推察いたします。お集まりがありました時には、是非、お写真とともに事務局までご連絡頂きたいと思っております。引き続き、ご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。(E49 三輪 誠 記)